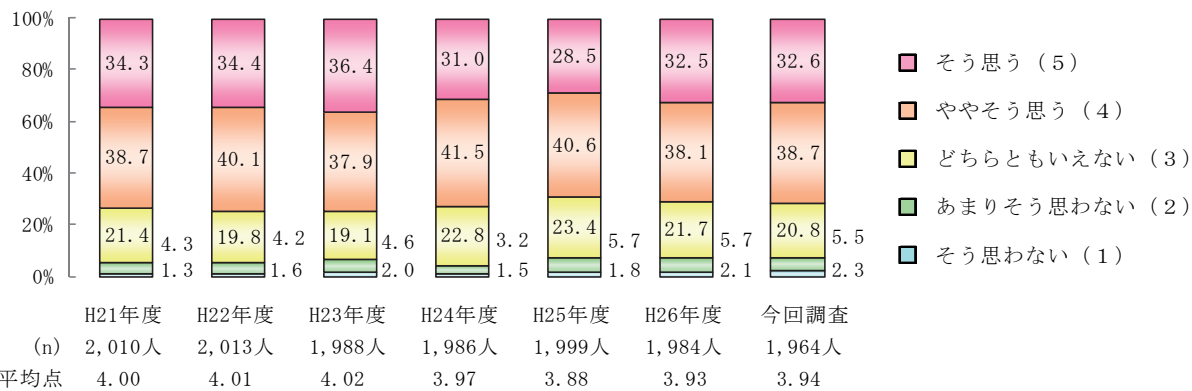
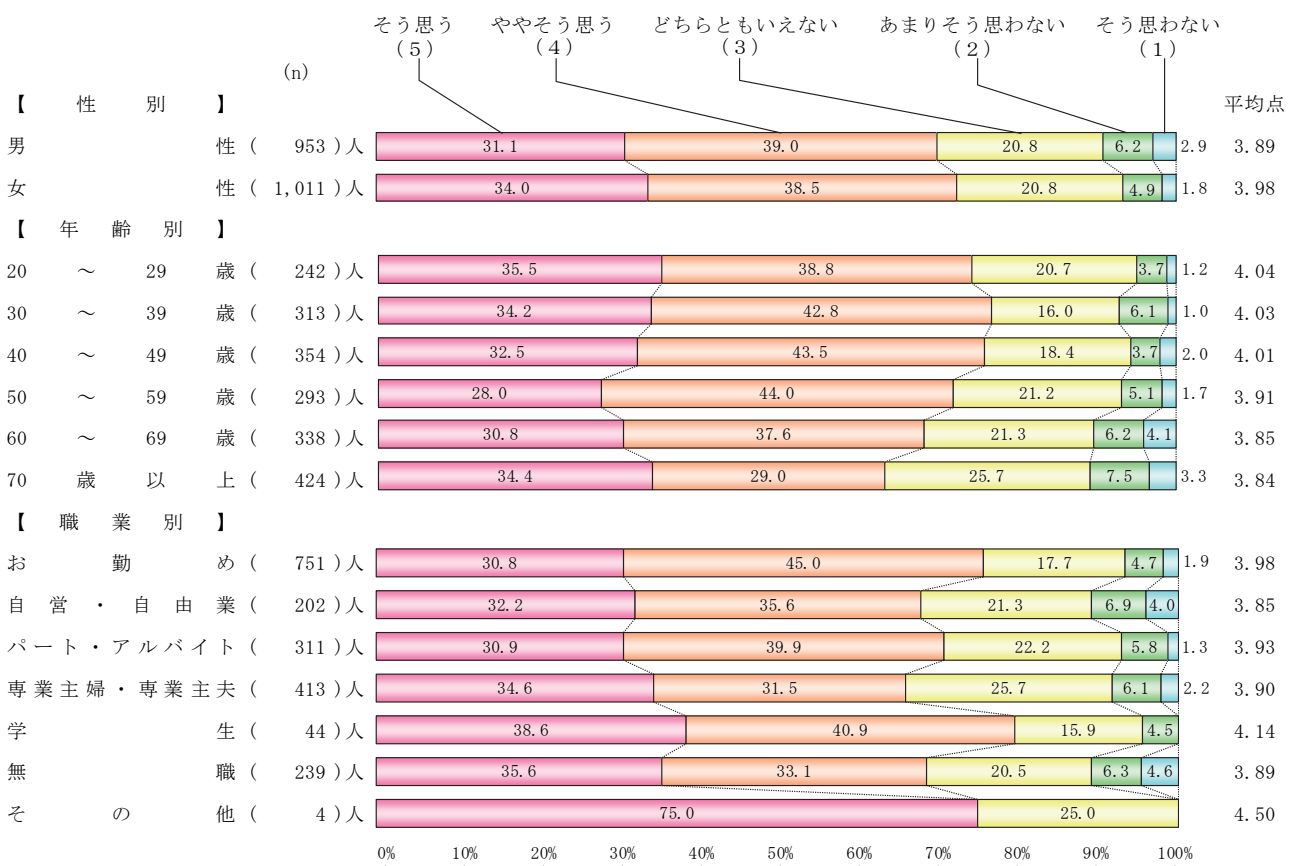


Q 6 (e) 裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる

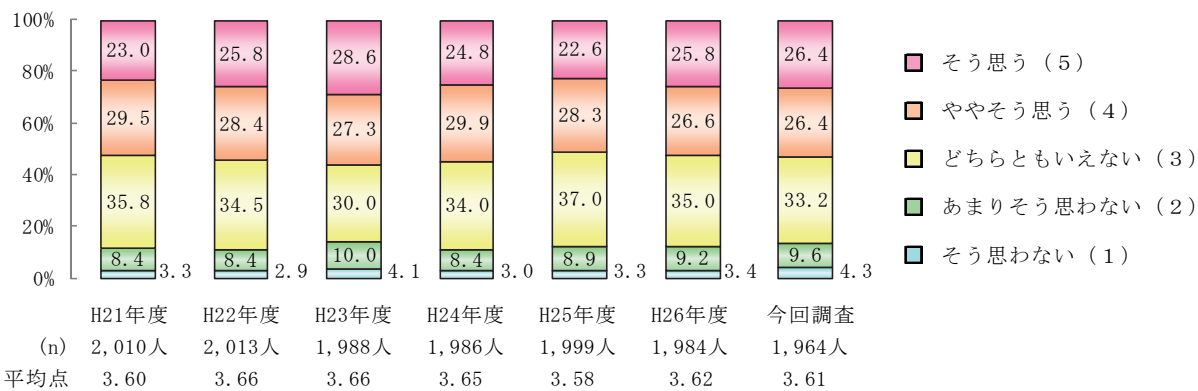


裁判員制度の実施により『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は71.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は7.8%となっている。

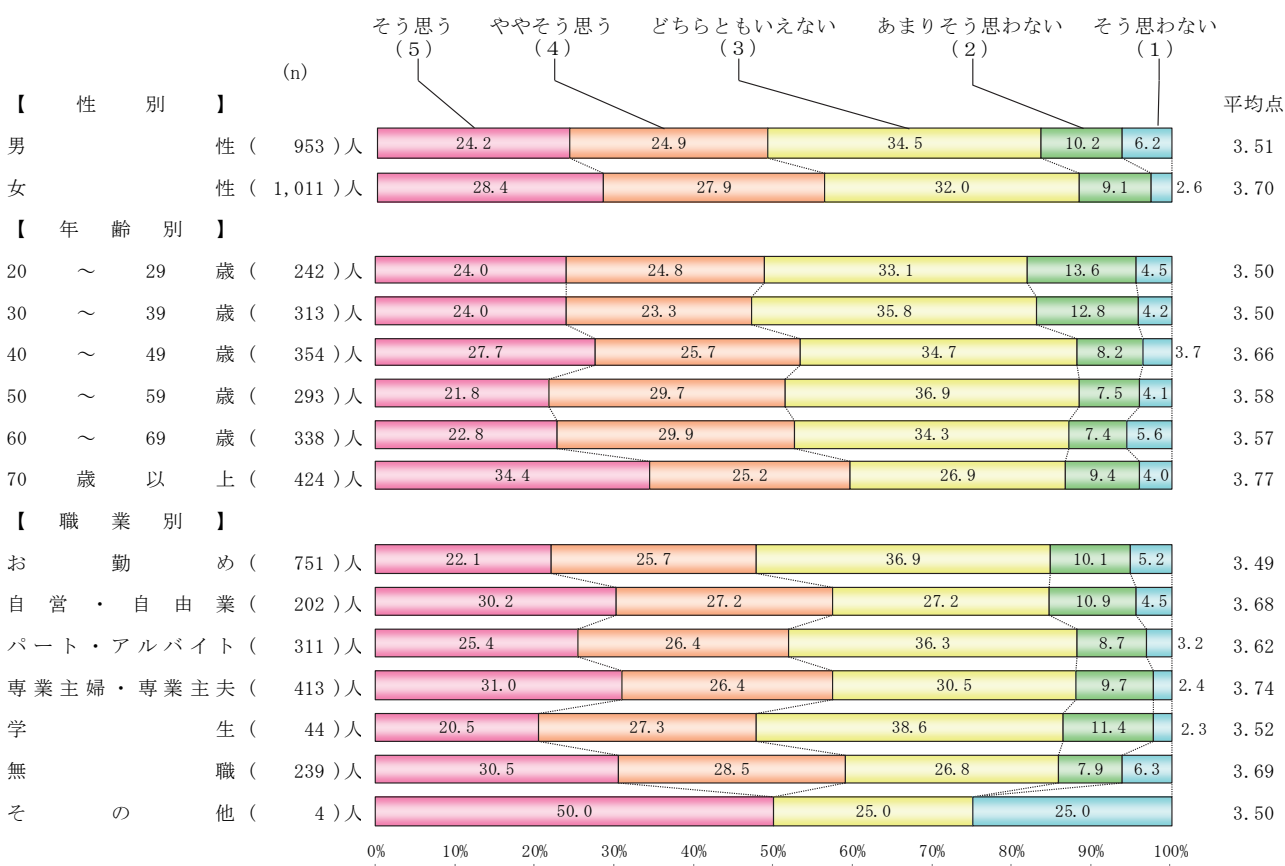


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70代が最も低く、職業別では、専業主婦・専業主夫が最も低くなっている。

Q 6 ( f ) 事件の真相がより解明される

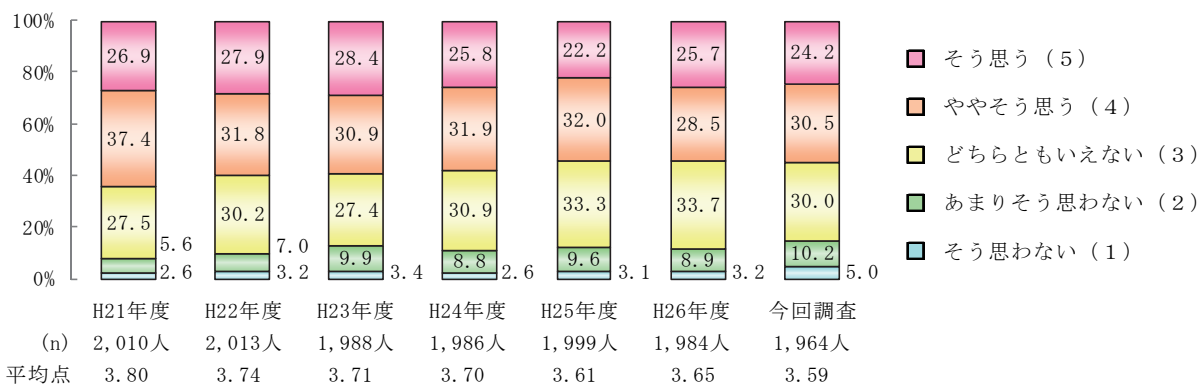


裁判員制度の実施により『事件の真相がより解明される』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は52.8％、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.9％となっている

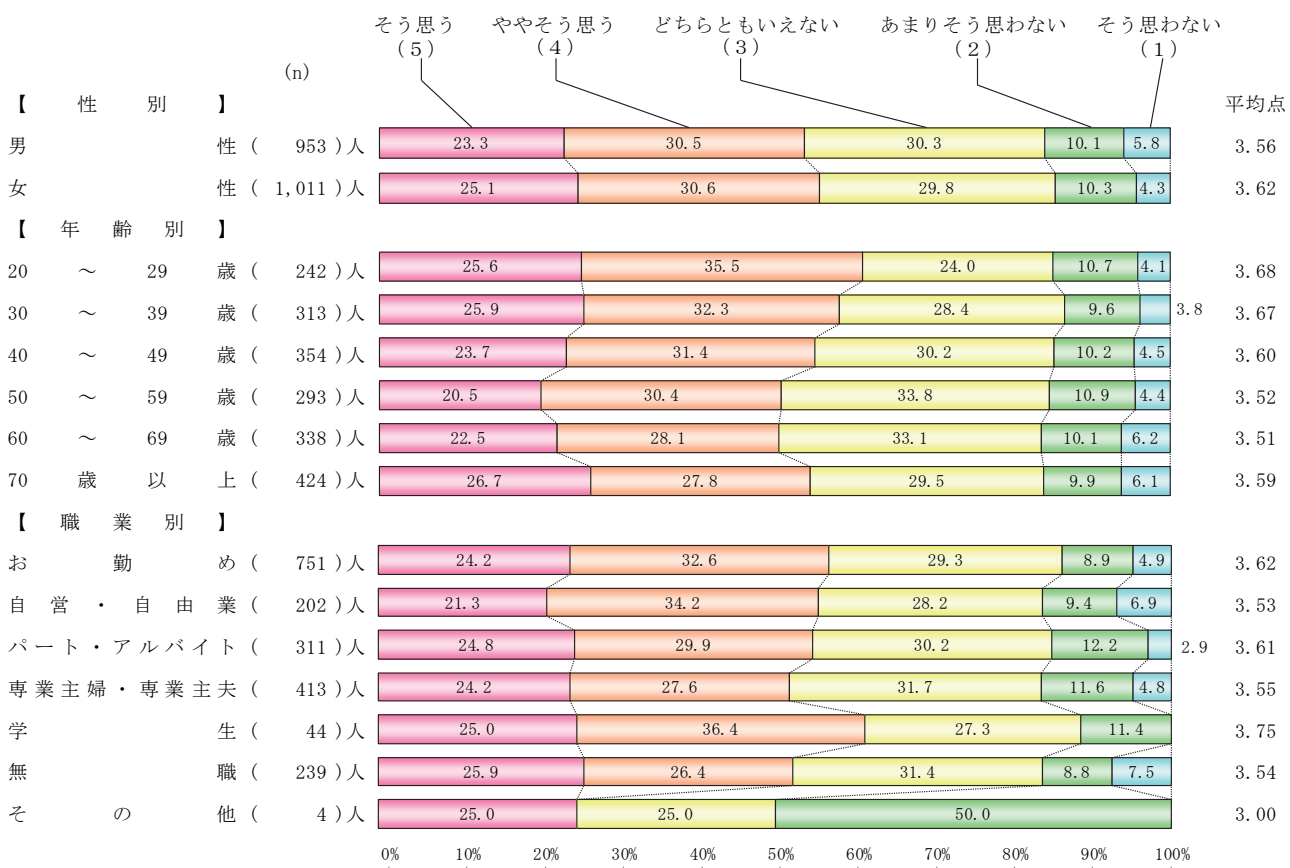


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、女性で高く、年齢別では、70歳以上が最も高くなっている。職業別では、学生が最も低くなっている。

Q 6 (g) 裁判の手続や内容がわかりやすくなる

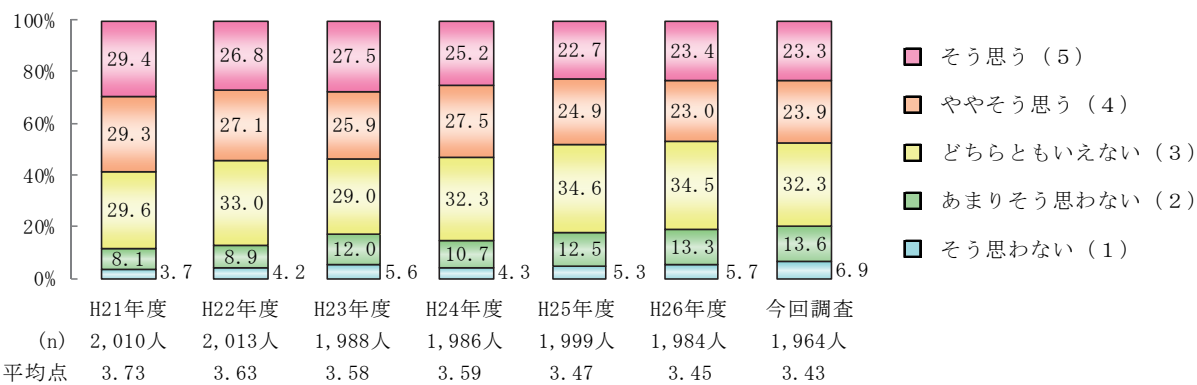


裁判員制度の実施により『裁判の手続や内容がわかりやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は54.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は15.2%となっている。

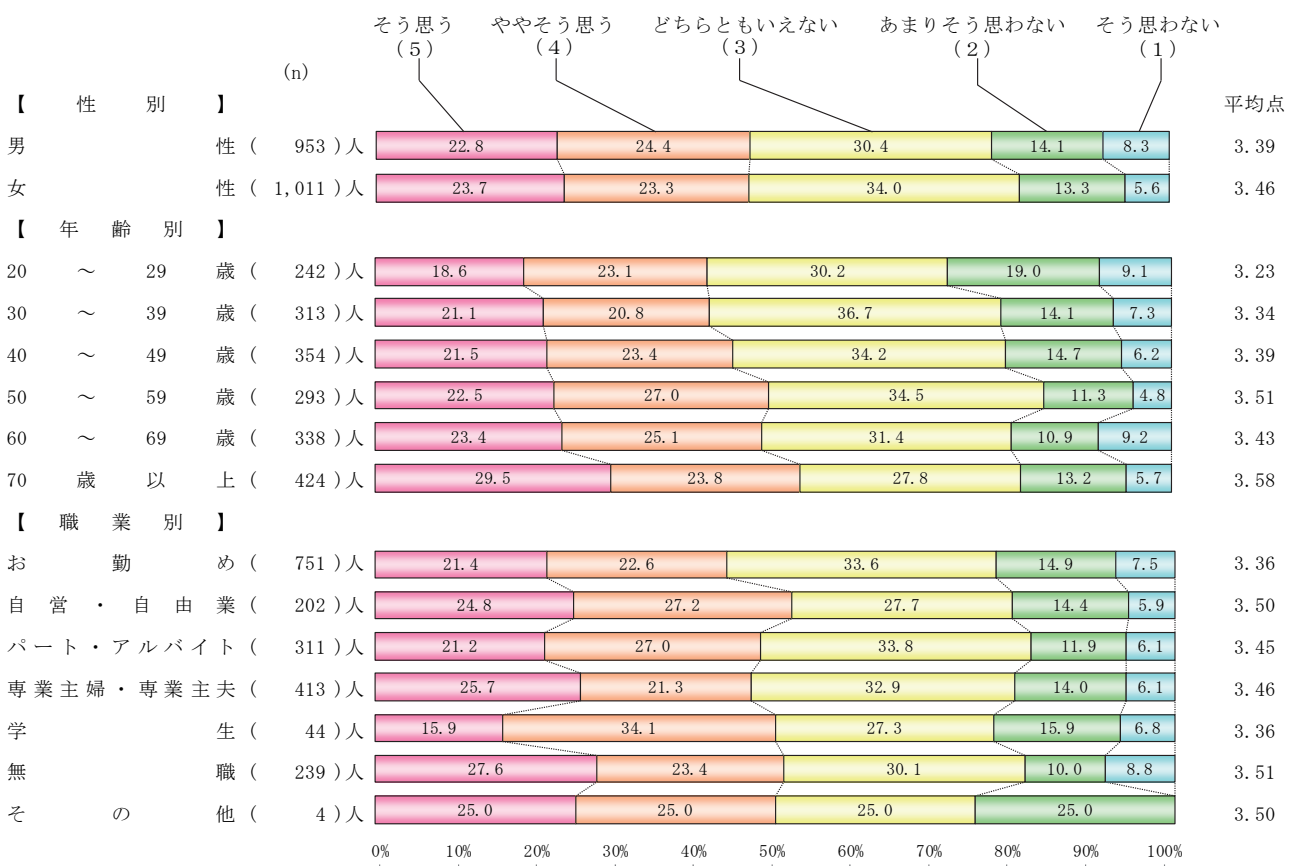


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、20代が最も高く、職業別では、専業主婦・専業主夫が最も低くなっている。

Q 6 (h) 裁判が迅速になる

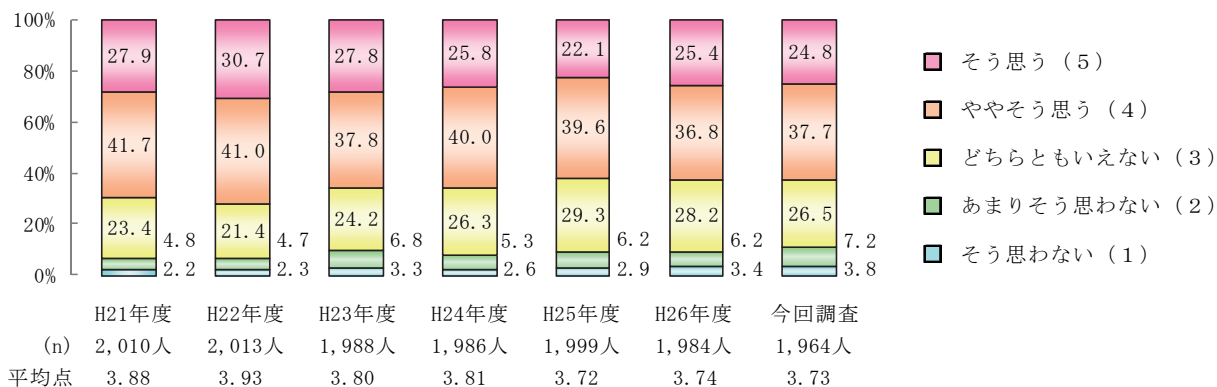


裁判員制度の実施により『裁判が迅速になる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は47.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は20.5%となっている。

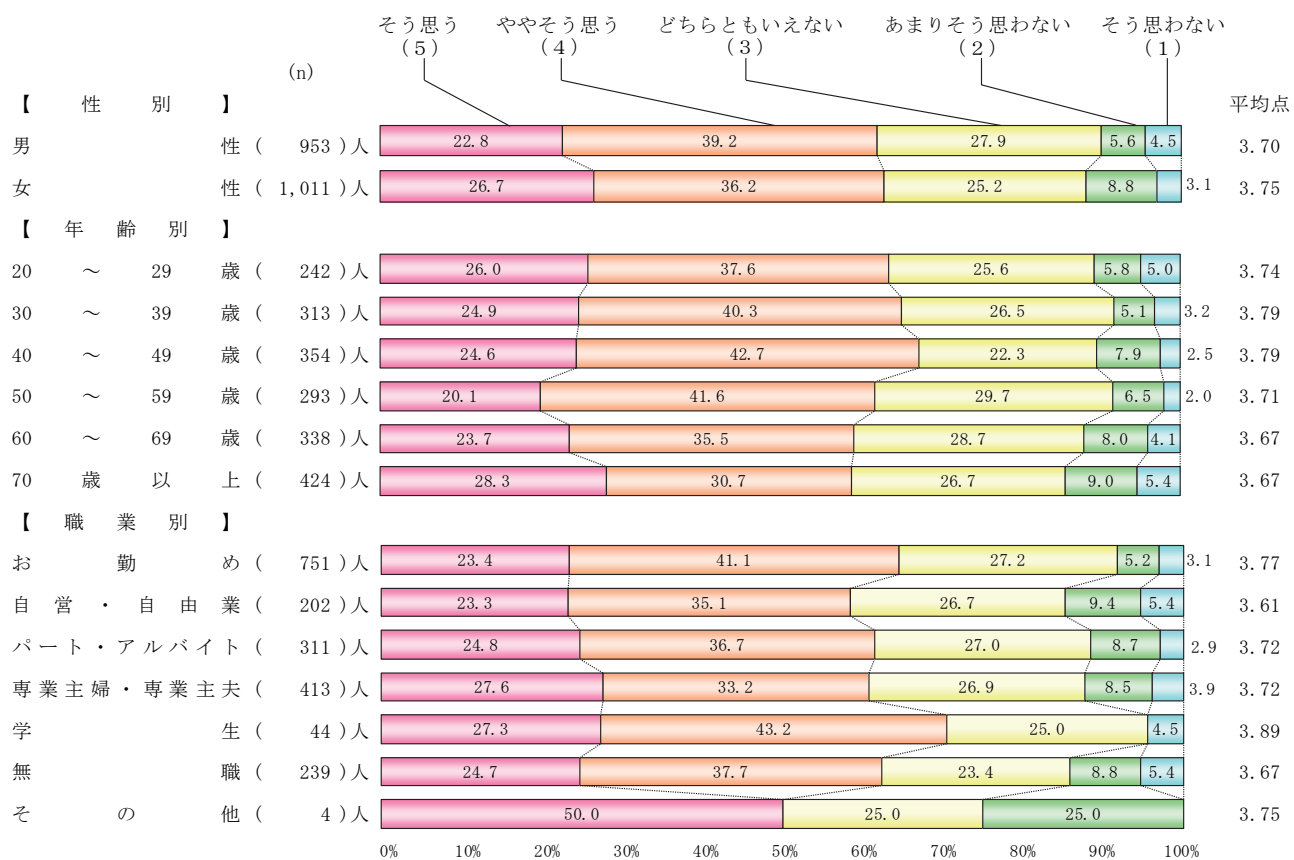


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、お勤めが最も低くなっている。

Q6(i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる



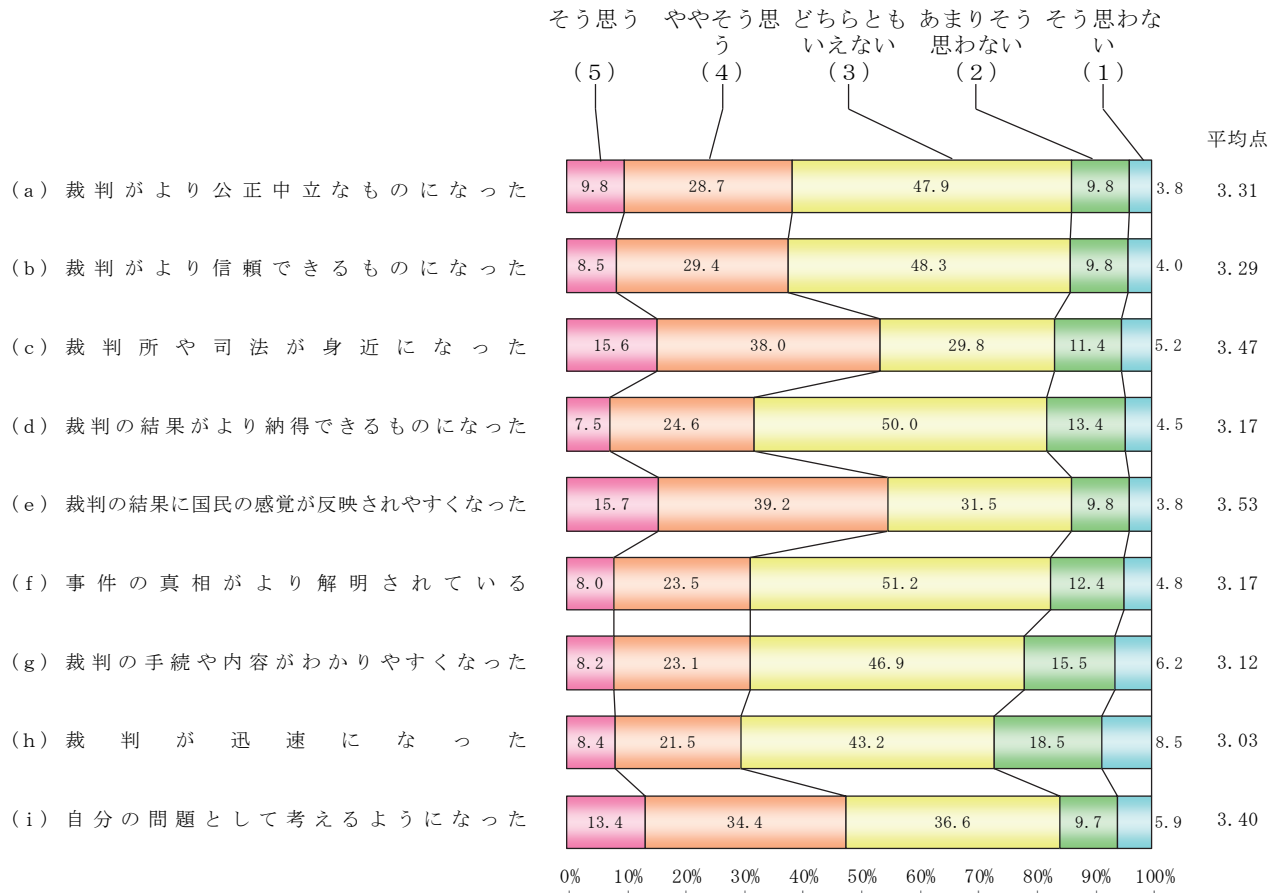
裁判員制度の実施により『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は62.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は11.0%となっている。



『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では大きな差はみられない。年齢別では、40代が最も高く、職業別では、学生が最も高くなっている。

## 7 現在実施されている裁判員制度の印象

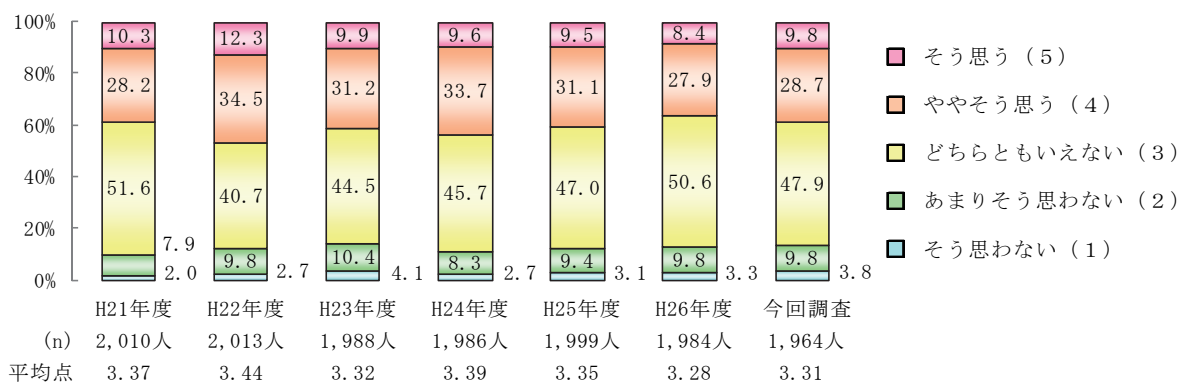
Q7 【回答票7】 あなたは、現在実施されている裁判員制度について、どのような印象を持っていますか。次の(a)～(i)の項目について、次の中から最も当てはまるものを1つ選んでください。



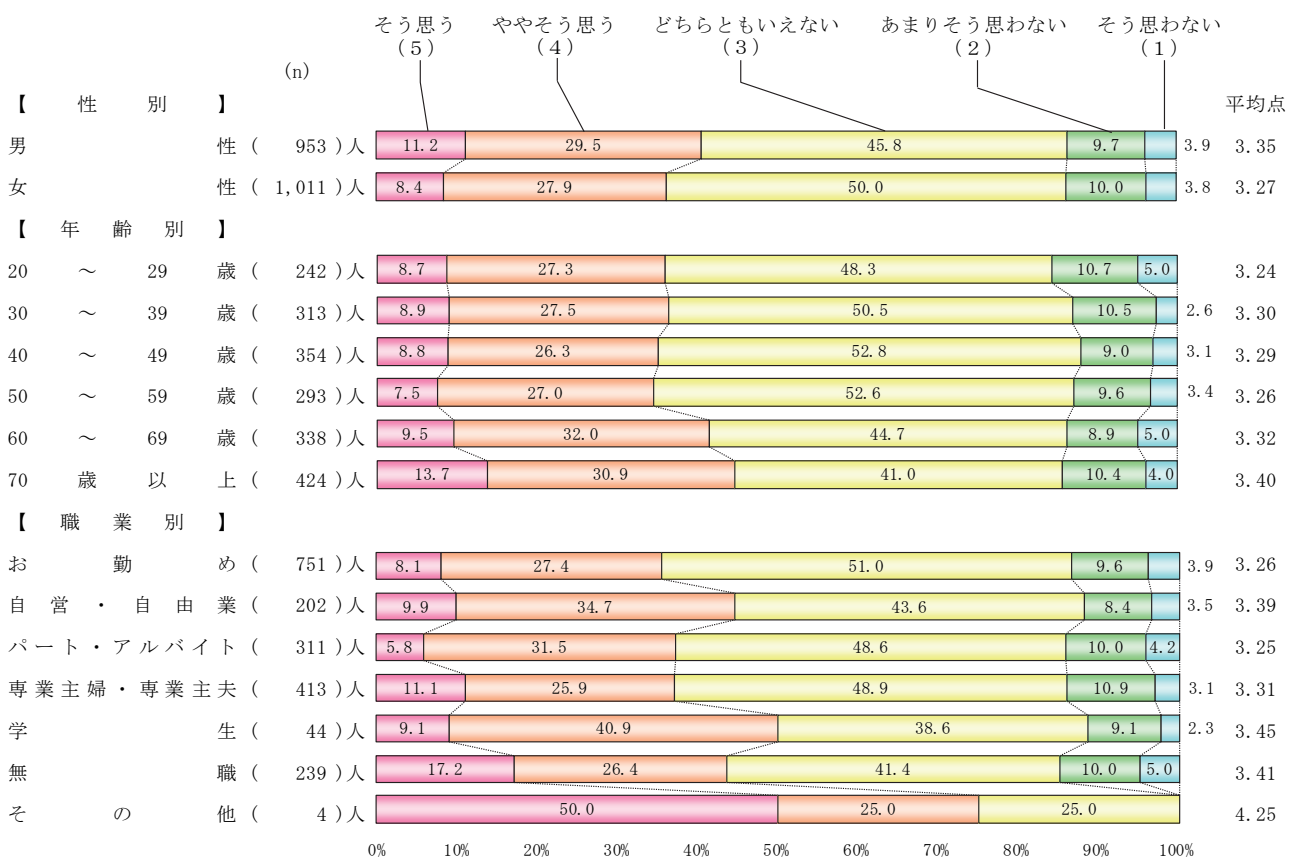
※平均点は「そう思う」5点、「ややそう思う」4点、「どちらともいえない」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点でウエイト処理したものである。

現在実施されている裁判員制度について、どのような印象を持っているか、9項目の内容について聞いたところ、平均点が最も高かった項目は『裁判の結果(判断)に国民の感覚が反映されやすくなった』(3.53点)となっており、以下、『裁判所や司法が身近になった』(3.47点)、『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった』(3.40点)、『裁判がより公正中立なものになった』(3.31点)、『裁判がより信頼できるものになった』(3.29点)、『裁判の結果(判断)がより納得できるものになった』・『事件の真相がより解明されている』(3.17点)、『裁判の手續や内容がわかりやすくなった』(3.12点)、『裁判が迅速になった』(3.03点)となっている。

Q 7 (a) 裁判がより公正中立なものになった

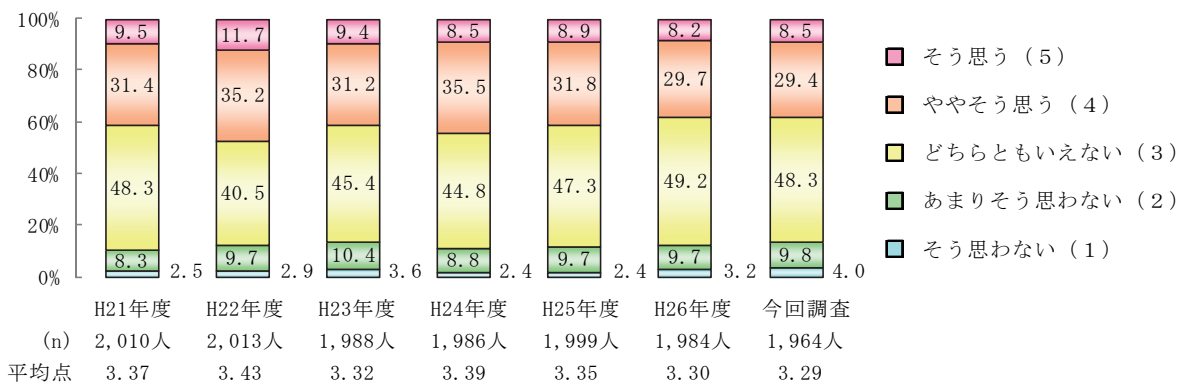


裁判員制度実施後の変化として『裁判がより公正中立なものになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は38.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.6%となっている。

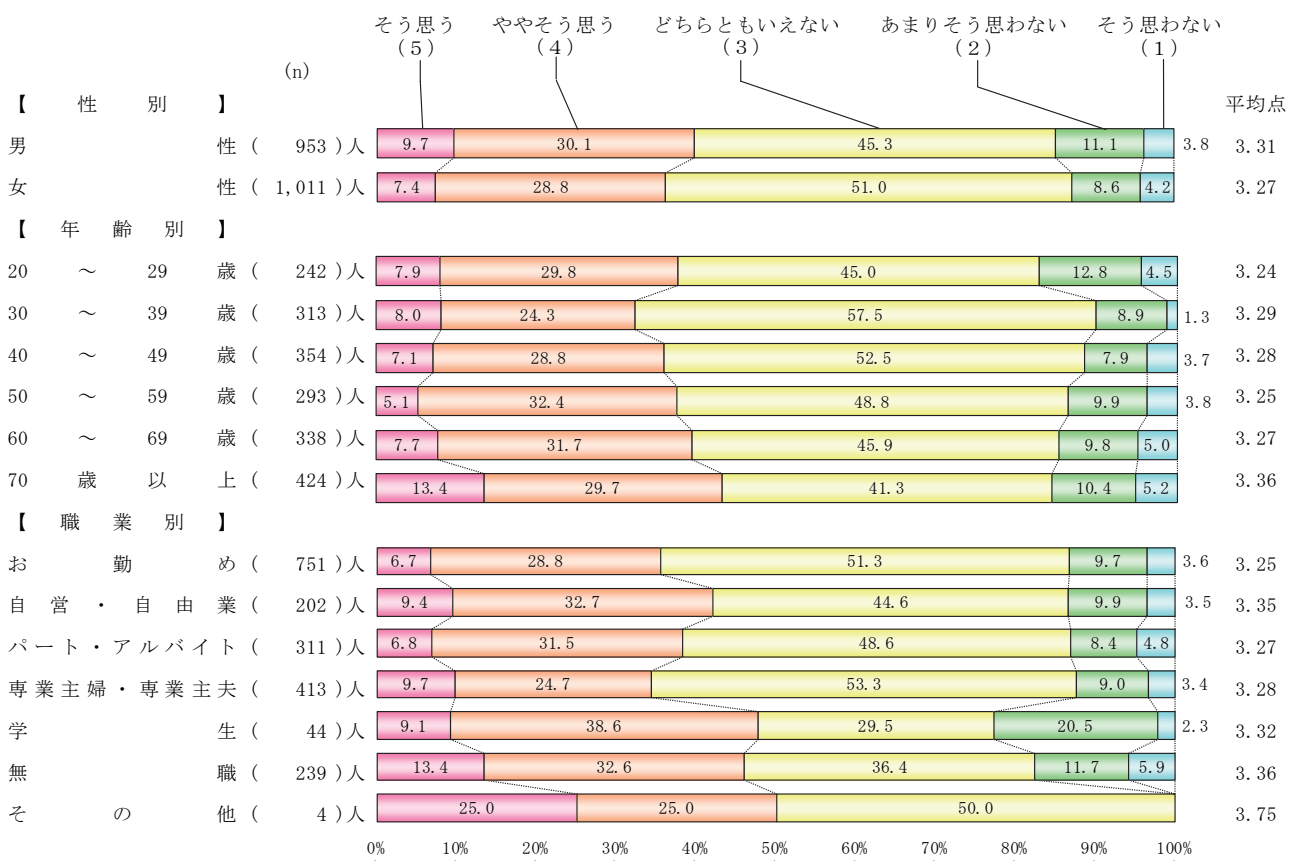


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、お勤めが最も低くなっている。

Q 7 (b) 裁判がより信頼できるものになった



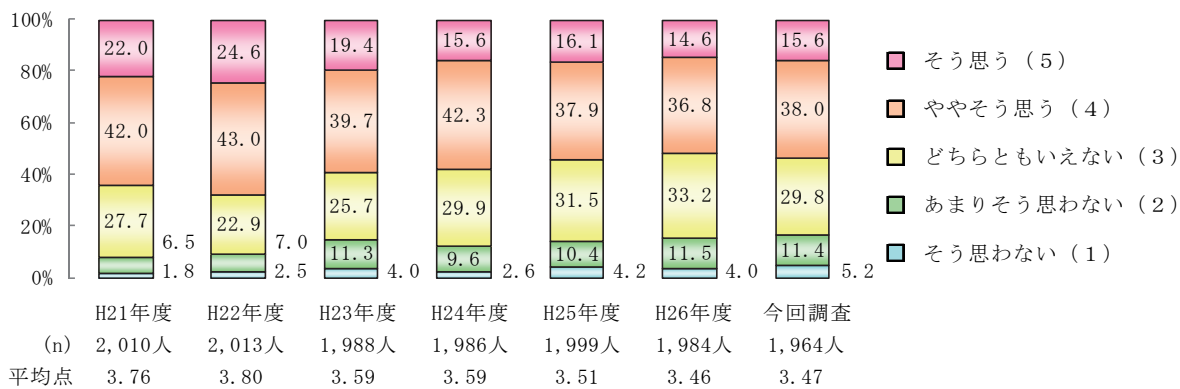
裁判員制度実施後の変化として『裁判がより信頼できるものになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は37.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.8%となっている。



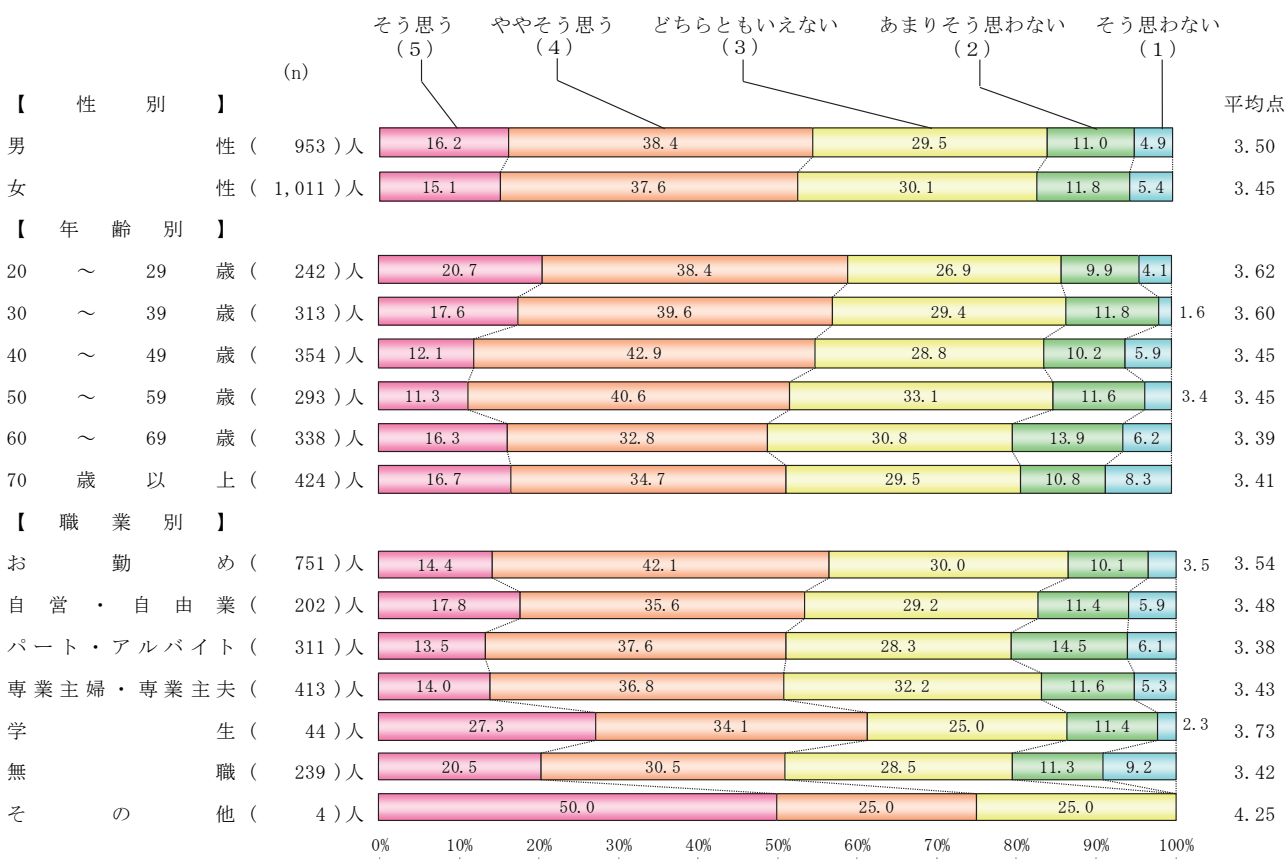
『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70代が最も高く、職業別では、専業主婦・専業主夫が最も低くなっている。



Q 7 (c) 裁判所や司法が身近になった

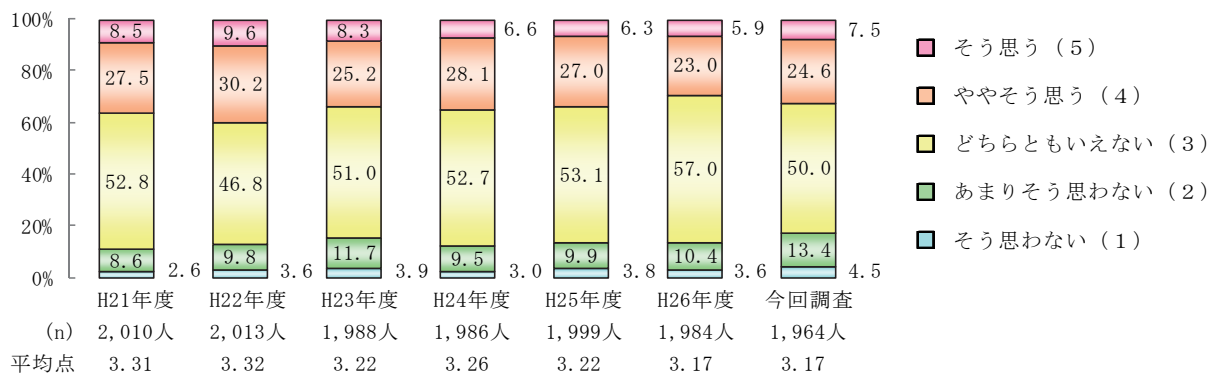


裁判員制度実施後の変化として『裁判所や司法が身近になった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は53.6％、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は16.6％となっている。

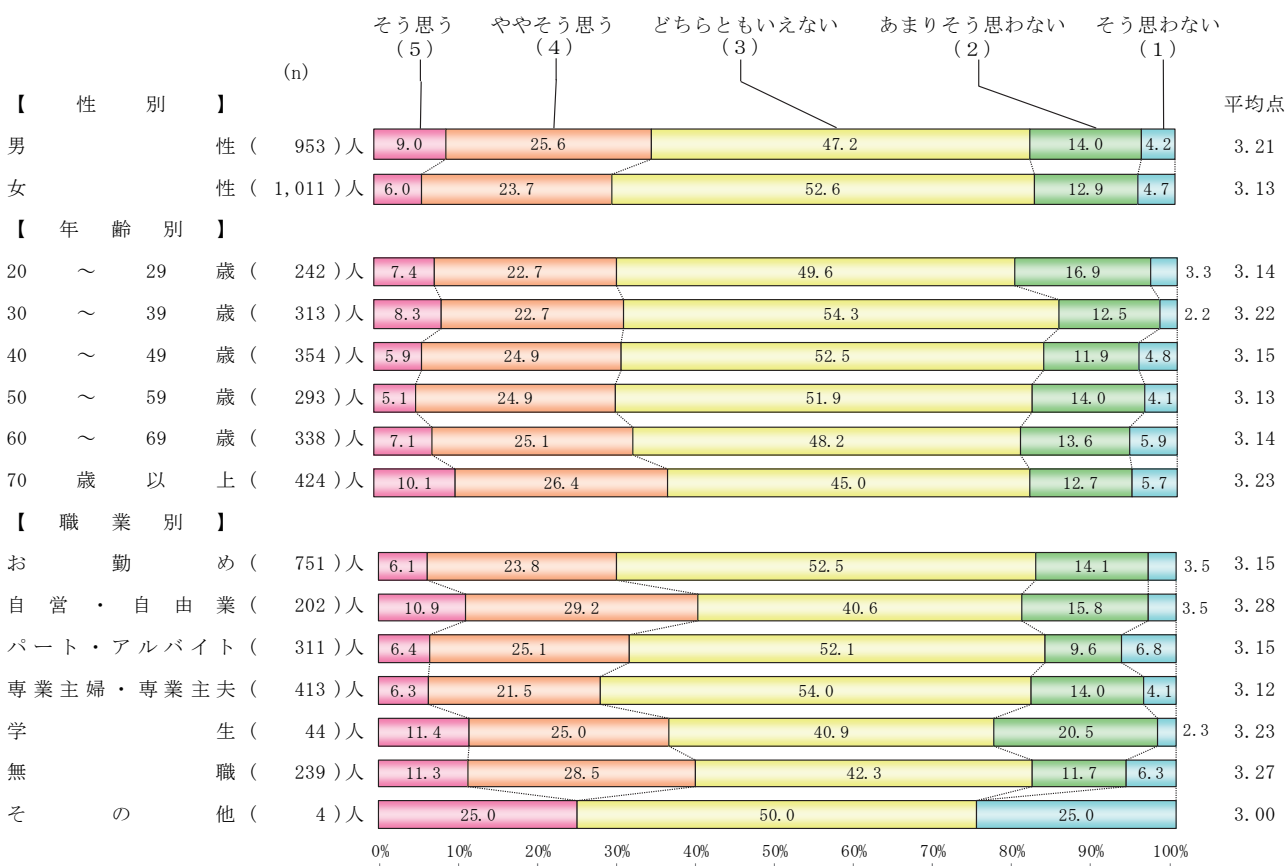


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、60代が最も低く、職業別では、学生が最も高くなっている。

Q 7 (d) 裁判の結果（判断）がより納得できるものになった



裁判員制度実施後の変化として『裁判の結果（判断）がより納得できるものになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は32.1%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は17.9%となっている。



『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、専業主婦・専業主夫が最も低くなっている。